

内房線における『特別快速』の増発及び
減便となった『特急列車』の復活について

要 望 書

平成28年1月

千葉県館山市

館山商工会議所

一般社団法人 館山市観光協会

内房線における『特別快速』の増発及び減便となった『特急列車』の復活について（要望）

日頃から安房地域及び館山市における公共交通維持のため、格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、平成27年3月14日のダイヤ改正で、内房線特急「さざなみ」については、運転区間の見直しにより、平日における館山～君津間での運転が取り止めになり、館山～東京間に総武快速線直通の『特別快速』が新設されたものの、沿線住民や観光客・ビジネス客にとりましては、内房線の利便性は大きく低下することになりました。

地域住民からは、「高速バスでは、定時性が確保されず、東京駅で乗り換えの時など非常に困っている」といった声も多く聞かれます。

千葉県南地域では、平成19年の館山自動車道全線開通以来、アクアライン経由の高速バス利用者は増加し、特急「さざなみ」利用者は減少傾向にありました。

しかしながら、鉄道は、高速バスに比べ、大量輸送、定時性の確保、安全性や環境面などに優れた特徴を有し、通勤・通学をはじめ、地域住民の日常生活に欠くことのできない交通手段として、また、まちづくりや産業・観光の基盤として、重要な役割を果たしております。

館山市といたしましても、鉄道の重要性を再認識し、利用者の増加に向け、引き続き広報などを通じ、市民の皆様積極的に鉄道利用を呼びかけるとともに、より一層官民協働で取り組んでまいりますので、内房線の利便性確保に向け、朝の通勤・通学時間帯における館山からの上り、夕方の帰宅時間帯における東京からの下りの『特別快速』の増発及び減便となった『特急列車』の復活について、特段のご配慮を賜りますよう強く要望いたします。

平成28年1月27日

東日本旅客鉄道株式会社
千葉支社長 藤森 伸一 様

館山市長

金丸 謙



館山商工会議所会頭

杉井 繁 樹



一般社団法人 館山市観光協会代表理事会長

小金 晴 男

